

捨てればごみ 生かせば資源

不要になって捨ててしまうものは、地球の限りある資源から作られたものです。

「捨てればごみ、生かせば資源」をモットーに、ごみを出すときは、もう一度リサイクルできないか考えてみましょう。

無理なくできることを楽しみながら進めることがコツです。

今回は無理なく簡単にできるごみの減らし方を紹介します。

かまぼこ板もひと工夫

かまぼこ板は厚い板を使っているなので、横に2枚つけると鍋敷きに利用できます。

また、絵の具などで色をつけると、子どものおもちゃとして遊べます。

お茶がらやコーヒーかすを脱臭剤に

お茶がらやコーヒー豆のかすを広げて乾燥させると、脱臭剤として利用できます。ストッキングやお茶パックなどに入れて下駄箱やごみ箱に入れると重宝します。

靴下やセーター類は、クッションの中綿に

着なくなったセーターや使わない靴下は、捨てずに、クッションの中に入れてみましょう。中綿代わりになります。

リサイクル活動推進事業奨励金

家庭で出る新聞、雑誌類、ダンボール、紙パック、繊維類は集団回収に出しましょう。

彦根市では、ごみの減量と資源化のために資源回収を行う団体（子ども会、自治会、PTA、老人会など）に、回収量に応じてリサイクル活動推進事業奨励金を交付しています。